

2. 宗像市の植物相の概要

宗像市の植物相の特徴を代表的な地域の概況を記載することで以下に述べる。

(1) 沖ノ島

全島ほぼ岩山からなる小島。原生林が天然記念物に指定されており、本土では見られない貴重な植物が多く生育している。



九環協撮影 2006. 4. 29

(2) 「玄海少年自然の家」さつき松原

市の北部に位置する白砂青松の美しい海岸。

砂浜後背地の松林、さらに内陸側に位置する池や水田には、イヌホタルイ、カワラスガナ、イガガヤツリなどのイネ科やカヤツリグサ科などの貴重な植物が多くみられる。



海岸風景 2006. 10. 17

(3) 黙想の家－教会の森

約2haほどの教会の森が対象。

アカマツ、スタジイ群落の里山であり、その他の樹木相も含めて極めて良好。

(4) 戸田山

宗像市の東側、八所宮の北側に隣接する地域。

カラスザンショウの大木があるほか、本市では稀なヒメウツギ、コマユミ、コショウノキ、更にコシオガマの群生地もみられる。



戸田山全景 2006. 10. 7

(5) 孔大寺・樽見川上流域

宗像市の東部に位置する四塚連山の最高峰（499m）。

近年減少しているオミナエシ、ササグリヤブマオ、キクモ、ハナウドなどがみられる。



孔大寺全景 2006. 10. 8

(6) 大島

玄界灘に浮かぶ離島。

北海岸には北限とされるマルバニッケイが群生し、ネコノチチ、ナンバンキブシ、コバノチョウセンエノキ、ツタウルシ、バクチノキ等希少種が多い。草本ではイワタイゲキの群生地があり、ナンゴクウラシマソウ、ウマノスズクサ、ハンゲショウ、タキキビ、ダルマガク、ハマベノギクがみられる。シダ類のイワヒトデも注目種。

(7) 吉留、安の倉（妙見・釈地山・七反林）山域

宗像市の東端、釣川源流部の猿田峠に向かって左側の 200m 前後の山塊。

夏緑樹のイタヤカエデ、ウリハダカエデ、リョウブ、ヤマザクラ、ニガキ、ケカマツカ、オカウコギ、ヤマモガシ等が生育する。



安の倉-妙見山全景 2006. 10. 13

(8) 大平山

宗像市から宮若市へ向かう赤木峠の左側（北東方向）に位置する。

自然林が山頂付近と一部分に残っており、クヌギ、アラカシ、シイノキ、イヌガシ、ヤマモモの大木などがみられるほか、ヤマウグイスカグラ、ヤマツツジ、シュンラン、



太平山全景

ヤマネコノメ、トチバニンジンなどが生育している。

(9) 許斐山山地

宗像市南西部に位置し、福津市との境界をなす地域。

ヘラノキ、ニガキ大木、カゴノキ小群落、シマサルナシなどの大木のほか、草本ではサラシナショウマ、サツマイナモリ、オトコエシ、ミゾコウジュ、ホドイモ、ホザキキケマンなどがみられる。



許斐山全景

(10) 白山

宗像市北東部に位置する。

5合目あたりより上が自然林となっており、タブノキ、カゴノキ、クスノキ、イスノキ（大木）、スダジイ、ツブラジイ、アカガシ、ヤブニッケイ、オガタマノキなどが生育している。



白山全景 2006. 10. 18

(11) 八所宮

市の西方に位置する八所宮の社叢林。

トキワガキをはじめイチイガシ、モッコク、タブノキの大木の林がある。県内に稀なヤマモガシ、リンボク、カカツガユ、オガタマノキやネズミサシの古木がある。また、大木にはフウランが着生しているほか、下草にタシロランなどがみられる。



八所宮全景 2006. 10. 7

(12) 磯辺山

市の南西端に位置し、福津市と宮若市に隣接する。

ウラジロノキ、カギカズラ、コシヨウノキ、コバンモチ、ホウライカズラ、ヤシャブシなどの大木、フタリシズカなどの草本、ナガサキシダ、ナチシダ、ヘラシダなどのシダ類が確認されている。



磯辺山全景

(13) 名残山周辺

宗像市内から赤城峠に向かって右側の山地。鞍手郡との郡境をなし、分水嶺となっている。ヘラノキの大木やヤブデマリ、コシヨウノキ、オカウコギ等の大木、カノコソウ群落、カワヂシャ、トチバニンジン、ヨロイグサ、イヌホタルイ、アゼナルコなどの草本、ヤマイヌワラビ、オニヒカゲワラビなどのシダ類が見られる。

(14) 名残の谷地田

自由ヶ丘団地の背後に位置する谷地田。

宗像の里山の典型性を示す環境で、アカマツ、ヤマツツジ、ウラジロノキ、ヤマウグイスカグラ、ザイフリボク、イチイガシ、シイモチ、シリブカガシ、コバンモチ、ヤマモガシなどの木本、イヌホタルイ、タマガヤツリ、ヒデリコ、アブノメ、



名残の谷地田全景 2006. 10. 7

キカシグサ、ヒメミソハギ、イチヤクソウ、ミヤマウズラ、ヌカボシクリハランなどの草本、イワヒメワラビ、コハナヤスリ、イワヘゴなどのシダ類が見られる。

(15) 大穂の谷 馬頭観音とその上流域

宗像市の南、磯辺山の西側に位置する。

馬頭観音の境内にはヤマナシ、イロハカエデ、クロガネモチ、リンボク、イチイガシ、イヌマキ、ヤブツバキ、ヤブニッケイ、クヌギ、ツブラジイなどの大木のほか、マルバツユクサ、タシロラン、ツリフネソウ、ジャニンジンなどの草本、ゲジゲジシダ、エンシュウカナワラビ、イワヒメワラビなどのシダ類がみられる。



大穂の谷全景

(16) 野坂地区・藤倉川流域

鞍手郡との境へと延びる藤倉川は宗像市の南西部の藤倉川流域に位置する。

里山的生態系の保全された地域であり、アカマツ、ヤマツツジ、コシアブラ、ケカマツカ、ウラジロノキ、ヤマウグイスカグラ、クロミノサワフタギ、クロバイ、ソヨゴ、ミズメ、リョウブなどの木本、アワボスゲ、フジカンゾウなどの草本、トウゴクシダ、ホソバイヌワラビ、カラクサイヌワラビ、ナガサキシダ、オニヒカゲワラビなどのシダ類がみられる。



野坂 藤倉川 2006. 4. 21

(17) 釣川下流

さつき橋から砂山橋までの釣川流域。

宇生神社の境内にボウラン、クサスギカズラ、ホタルカズラ、シロバナハマカンギク、ノヂシャが見られた。



砂山橋より河口方面を見る 2006. 4. 26

(18) 釣川中流（上）

朝町川と釣川が合流する流域の水田と宗像浄化センターの南東側丘陵地の里山林。

コナラ、アオナラガシワ、ナラガシワなどの大木のほか、アゼオトギリ、カワヂシャ、オオシシウド、オギノツメ、ハンゲショウ、ホソバノウナギツカミなど、水辺の植物が多くみられた。



鹿児島本線横に広がる水田 2006. 7. 18

(19) 釣川中流（下）

山田川と大井川が釣川と合流する流域に広がる水田地帯と、それに連なる里山。

木本では、ナラガシワ、オオアブラギリ、ミヤマウグイスカグラ、コショウノキなど、草本ではゴキヅル、スズメウリ、イシミカワ、オギ、アブラガヤ、ヨシなどが群生している。内池近くでは、ミゾコウジュなどの希少な植物も確認されている。



上多礼橋より下流方面を見る 2006. 4. 14

(20) 鎮国寺

釣川をはさんで、宗像大社と向かい合う鎮国寺の社叢林。

カシ、シイを主体として、モミノキ、イスノキなどの巨木が存在する。ハイチゴザサ、センボンヤリ、イシカグマなどの希少な種もみられる。



境内より社叢林を見る 2006. 4. 21

(21) 吉田・多礼貯水池周辺

吉田・多礼貯水池を中心とする水田などの耕作地、植林地、雑木林よりなる地域。農業用溜池も数多く存在する。

シイモチ、リンボクなどの木本や、ヌマトラノオ、ワサビ、ハイチゴザサ、ハンゲショウ、ヘラオモダカ、コシオガマ、アケボノソウ、イヌセンブリなどの草本がみられる。



山王神社周辺 2006. 10. 20

(22) 湯川山

宗像の東端に位置する四塚連山の海岸寄りの山。

登山口の承福寺にはケンポナシの大木があるほかシイモチ、カカツガユ、ナンバンキブシなどの木本、ヤナギイチゴ、シタキソウ、マルバハダカホオズキ、イガホオズキ、カワミドリ、ナンゴクウラシマソウなどの草本がみられる。



瀬戸バス停より 2006. 9. 25

(23) 大井貯水池周辺

大井貯水池を中心に水田などの耕作地、植林、雑木林、ミカン園などが広がる丘陵地よりなる。貯水池の上流部にはやや大きな農業用溜池が3箇所存在する。

ザイフリボク、リンボク、クロバイなどの木本や、コシンジュガヤ、フタリシズカ、ツルギキョウ、マルバハダカホオズキ、オオヒナノウスツボ、ミゾコウジュ、ハナ



貯水池より釈迦院周辺丘陵地を見る 2006. 7. 27

ウドなどの草本がみられる。

(24) 宗像大社・氏八幡

宗像大社の境内の林及び氏八幡の社叢林。

カシワ、バクチノキ、ウバメガシ、クスノキ、ヤマモガシなどの大木や、ボウラン、アオイゴケがみられる。



氏八幡 2006. 4. 28

(25) 新立山・武丸周辺台地・平山天満宮

宗像市南東部に位置する新立山とその周辺の台地。麓には溜池が多く水源の森となっている。

カギカズラ、キダチニンドウ、ニガキ、ヤブデマリなどの木本のほか、ミゾコウジュ、マルバノホロシ、イガホオズキ、アゼオトギリ、ハイチゴザサ、サンショウモ、ミズワラビ、ヒメガヤツリ、キカシグサなどの草本がみられる。特にシダ類が豊富に生育している。



正助村より新立山を見る 2006. 4. 12

(26) 七社宮（石丸）

鹿児島本線と宗像直方線に接する小さな丘陵地に位置する。周囲は市街地となっている。

タブノキ、イチイガシ、スダジイ、クスノキ、コバンモチなどの大木がみられる。



七社宮正面鳥居 2006. 4. 21

(27) 光岡八幡宮

許斐山より連なる北東部の山麓部分に位置する。

宗像市でもっとも大きいクスノキの大木のほか、カゴノキ、イチイガシ、ヤブツバキ、ムクノキ、ホルトノキ、クロガネモチなどの大木がみられる。



正面参道より社殿を見る 2006. 4. 21

(28) 草崎

宗像市北西部の大島方向へ突き出した半島部。

半島全体にハマビワとマルバグミが点在し、波打ち際にはハマエンドウ、ハマナタマメ、ハマゴウ、ネコノシタ、スナビキソウなどの海岸植物がみられる。また宗像神社内ではコハナヤスリ、断崖にはダルマガキクが生育している。



勝浦浜より草崎半島を撮る 2006. 10. 16

(29) グローバルアリーナ・猿田川源流部

猿田川上流にあるスポーツ施設グローバルアリーナの後背地。

宗像の他所には見られない山地性のツルマサキのほか、マルバノホロシ、ツルカノコソウ、ハンゲショウ、アキノウナギツカミ、ミズタマソウ、アカバナなどの草本がみられる。



グローバルアリーナ レクリエーションの森
2006. 10. 3

(30) 地島（祇園山・遠見山周辺）

鐘ノ岬から北西方向約2 km 沖に位置する周囲9.3kmの島。

北部の祇園山はマテバシイ、スダジイ、クワノハエノキ、タブノキ、ハクサンボク、遠見山のヤブツバキ林下にはコバノカナワラビ、ノシラン、キノクニスゲが群生する。そのほかタキキビ、マルバハダカホオズキ、アキザキヤツシロラン、ギンレイカ、ミヤコジマツヅラフジ、イシカグマ、イヌノフグリがみられる。



鐘崎より地島を見る 2006. 6. 29

(31) 弥勒山・金山周辺

宗像市東部の四塚連山に位置する。麓には平等寺、畑、水田よりなる農耕地、集落がある。

コバノミツバツツジ、コツクバネウツギ、ツリバナ、アオハダ、アキニレ、ウラジロノキなどの木本、ヤマホオズキ、ツルギキョウ、ナガバノヤノネグサ、ツチアケビなどの草本がみられる。



平等寺集落と弥勒山・金山 2006. 10. 20

(32) 城山

宗像市東部の四塚連山の南端に位置する。

ウラジログシ、スダジイ、カゴノキ、アサダ、ムクロジなどの巨木や、コバンノキ、カギカズラなどの木本、ツルギキョウ、マルバコンロンソウ、フタリシズカ、コカモメヅル、モミジガサなどの草本、ナガサキシダなどのシダ類がみられる。



武丸地区より 2006. 8. 1

(33) 鐘崎海岸・鐘の岬（織幡宮）・さつき松原（上八海岸）周辺

織幡宮の社叢を含むさつき松原から鐘ノ岬までの海岸地帯。

シマモクセイ、ハマビワ、クワノハエノキ、シャリンバイ、トベラなどの木本、マルバハダカホオズキ、イヌノフグリ、ダルマガク、ネコノシタ、スナビキソウ、ウマノスズクサ、アツバスマレ、ハマオモト、クサスギカズラ、ヒメヤブラン、キノクニスゲ、ナンゴクウラシマソウなどの草本がみられる。



上八に近いさつき松原の海岸 2006. 4. 6